

特記仕様書

工事名称	ペアシティ三原西館改修工事
工事場所	三原市城町一丁目
建物概要	・構造：鉄骨鉄筋コンクリート造7階建て ・延べ床面積：21,374.7㎡
工事内容	次のとおり、ペアシティ三原西館の3、4階について、防火区画に関する改修工事を行う。 ・特定防火設備(防火戸)の新設 ・間仕切り壁(耐火構造)の増設 ・その他撤去、備品工事等
関係法令等	公共建築工事標準仕様書(平成28年版)、公共建築改修工事標準仕様書(平成28年版)、建築物解体工事共通仕様書(平成24年版)に基づき施工する。 本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。 ・建築基準法、同施行令、同施行規則 ・消防法、同施行令 ・建設業法、同施行令、同施行規則 ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律、同法施行令、同法施行規則 ・労働安全衛生法、同法施行令、同法施行規則 ・建設工事公衆災害防止対策要綱 ・石綿障害予防規則 ・大気汚染防止法、振動規制法及び土壌汚染対策法 ・その他関係法令
疑義変更	本設計図書は、設計の概要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。 施工に際して疑義を生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監督員と協議し、監督員の指示により施工すること。ただし、これらにおいて請負金額の増減はなきものとする。
提出書類	施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けるものとする。また、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けるものとする。
工期	本工事は請負契約締結の後、令和2年7月30日をもって工期とする。このうち検査期間として13日間を見込んでいる。
別途工事	・ペアシティ三原西館再編改修工事(建築主体工事) ・ペアシティ三原西館再編改修工事(電気設備工事) ・ペアシティ三原西館再編改修工事(給排水衛生設備工事) ・ペアシティ三原西館長寿命化改修工事(空調換気設備工事) ・ペアシティ三原西館長寿命化改修工事(照明器具LED化工事) ・ペアシティ三原西館長寿命化改修工事(機械設備工事) ・その他、備品設置等
その他	・入札に先立ち現地調査を十分に行ない、質疑がある場合は入札前に確認すること。 ・本工事は、施設利用者の安全を最優先し、丁寧な説明と施工により理解と協力を得ながら実施すること。

- ・ペアシティ三原西館外壁改修工事，東館跡地活用事業に関する図書館，ホテル，商業棟建設工事，東館跡地周辺道路改築工事等，別途工事を含め近隣で行われる工事の取り合い及び工程等の調整を行うこと。
- ・建物内の店舗，宿泊施設，社会福祉協議会，サン・シープラザの営業及び運営等への支障を最小限に留めるため，工事工程及び作業手順等は最大限配慮すること。
- ・別途工事間では互いに協力しあい，相互の工期を考慮したうえ，各自の工程を計画すること。
- ・施設利用者等への影響を最小限とするため，騒音，振動及び粉塵等の対策については最大限配慮した施工方法を採用すること。
- ・工事用出入り口には誘導員を随時配置すること。
- ・工事期間中は付近の交通の安全を図ると共に，必要な場合には交通整理誘導員を配置し事故及び危険防止に努めること。
- ・行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし，あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は，この限りではない。
- ・工事に係る電気，水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
- ・工事中に粉塵の発生が予想される工種については，周囲の備品等に十分な養生を行い施工すること。
- ・仮使用申請，道路使用，道路改築申請等の手続きについては，受注者の負担により遅滞なく行うこと。
- ・第三者災害防止及び飛散防止対策のため，必要に応じて監督員の指示する範囲に，バリケード等を設置すること。
- ・施工箇所周囲の備品，機器等については，養生及び清掃等を確実に行うこと。
- ・図面に明示されていない事項であっても，工事上必要とされる事は工事範囲とする。
- ・本敷地内の別途工事及び近隣で行われる工事について，取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
- ・受注者事務所，休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- ・工事に伴い各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- ・交通誘導員及び工事車両駐車料金(5台分/月)を本工事で見込んでいる。
- ・交通誘導員及び工事車両駐車料金について，実施数量が設計数量に満たない場合は設計変更(減額)の対象とする。
- ・本工事の外注資材，労務等の調達については，極力，三原市内に主たる営業所を有する業者に発注する。困難な場合は，あらかじめ，理由を添えて発注者の承認を受けること。
- ・本工事は別途契約の工事等と施工上密接に関連するため，本工事の受注者が調整をおこない，工程計画及び工事用車両の出入り等について当該工事関係者と十分調整し，工事の円滑な施工に務めること。
- ・以下の設計図面は，A2版をA3版に縮小している。(縮小率約70.7%)
- ・周辺道路の保全及び清掃については，常に注意を払い定期的に清掃をおこなうこと。
- ・工事車両等により周辺の道路を汚したり損傷させた場合は，清掃及び補修を行なうこと。
- ・仮設内部足場は本工事に見込んでおり，別途工事業者は無償で利用できるものとする。
(維持管理上必要な費用は各業者で協議の上分担すること。)
- ・台風や豪雨など自然災害の発生が予測される場合は，現場の巡視と災害防止対策を必要に応じて行うこと。

ペアシティ三原西館改修工事設計図

種別	符号	図面 番号	図面名称	縮尺
			表紙	
			図面目録表	
建築	A	1	特記仕様書(1)	
建築	A	2	特記仕様書(2)	
建築	A	3	特記仕様書(3)	
建築	A	4	特記仕様書(4)	
建築	A	5	特記仕様書(5)	
建築	A	6	特記仕様書(6)	
建築	A	7	特記仕様書(7)	
建築	A	8	工事概要・改修内容一覧表、共通事項・凡例、内装仕上表 (改修前・改修後)	
建築	A	9	付近見取図、配道図	1/500
建築	A	10	3階平面図（建具配置図） (改修前)	1/200
建築	A	11	4階平面図（建具配置図） (改修前)	1/200
建築	A	12	3階平面図（建具配置図） (改修後)	1/200
建築	A	13	4階平面図（建具配置図） (改修後)	1/200
建築	A	14	3階防災計画図 (改修後)	1/200
建築	A	15	4階防災計画図 (改修後)	1/200
建築	A	16	建具表（新設・撤去）	1/100
建築	A	17	3階平面図（撤去図） (改修前)	1/100
建築	A	18	4階平面図（撤去図） (改修前)	1/100
建築	A	19	3階平面図 (改修後)	1/100
建築	A	20	4階平面図 (改修後)	1/100
建築	A	21	3階天井伏図（撤去図） (改修前)	1/100
建築	A	22	4階天井伏図（撤去図） (改修前)	1/100
建築	A	23	3階天井伏図 (改修後)	1/100
建築	A	24	4階天井伏図 (改修後)	1/100

[illegible]

[illegible]

4

2

外壁改修工事

コンクリート打放し仕上げ外壁

1

ひび割れ部改修工法

【4.1.4】
【4.2.2】
【4.3.4～6】

※樹脂注入工法

工法の種類

ひび割れ幅（mm）

注入間隔（mm）

注入量（mL/㎡）

※A自動式低圧エポキシ樹脂注入工法

0.2以上0.3未満

200～300

※4.0

・

0.5以上1.0未満

※7.0

・

※B手動式エポキシ樹脂注入工法

0.2以上0.3未満

50～100

※4.0

・

※C繊維式エポキシ樹脂注入工法

0.3以上0.5未満

100～200

※7.0

・

※D繊維式エポキシ樹脂注入工法

0.5以上1.0未満

150～250

※13.0

・

コーキング検査

・行う

※行わない

補修方法（ポリマーセメントモルタル充填）

注入材料

※低粘度修補用低圧エポキシ樹脂（JIS A 6024）による（※低粘度形・中粘度形）

・軟質型エポキシ樹脂の中粘度型又は低粘度型

・Uカットシール材充填工法

・カッター部充填材

※可とう性エポキシ樹脂

・シーリング用材料（※1成分型又は2成分形ポリウレタン系）

・シーリング材のうえにポリマーセメントモルタル充填

・行う

・行わない

・シール工法

ひび割れ部シール材

※バチ状エポキシ樹脂

・可とう性エポキシ樹脂

2

欠損部改修工法

【4.1.4】
【4.2.2】
【4.3.7】

※充填工法

欠損部充填材

※ポリマーセメントモルタル

・エポキシ樹脂モルタル

1

ひび割れ部改修工法

【4.1.4】
【4.2.2】
【4.3.4～7】

（下記以外は4～1コンクリート打放し仕上げ外壁による）

※モルタルを撤去して改修（撤去後の補修は充分でん工法【4.4.8】による）

※樹脂注入工法・シール工法・Uカットシール材充てん工法

・モルタルを撤去しない改修

※樹脂注入工法・シール工法・Uカットシール材充てん工法

2

欠損部改修工法

【4.1.4】
【4.2.2】
【4.4.8、9】

※充てん工法（欠損部の面積が0.25㎡/箇所程度以下の場合）

充てん材の種類

※ポリマーセメントモルタル

・エポキシ樹脂モルタル

・モルタル塗替え工法

既製目地材

・使用する（形状）

仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置

※図示

3

浮き部改修工法

【4.1.4】
【4.2.2】
【4.4.10～15】

※モルタルを撤去しないで改修

・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法（・注入口付）

・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法（・注入口付）

・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法（・注入口付）

・アンカーピン

※ステンレス鋼（SUS304）呼び径6mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの

注入口付アンカーピン

※ステンレス鋼（SUS304）呼び径6mm

4

外壁複合改修工法

（下記以外は4～2コンクリート打放し仕上げ外壁、及び4～3モルタル塗り仕上げ外壁による）

タイル部分張替え工法及びタイル張替え工法用接着剤の種類

・ポリマーセメントモルタル

・JIS A 5557による一液反応硬化型形成シリコン樹脂系

・JIS A 5557による一液反応硬化型ウレタン樹脂系

タイルの形状、寸法等

施工箇所

形状寸法

再生材料

の適用

※水廻りによる汚染防止

役物

色

耐摩耗性

耐汚れ性

備考

当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、あらかじめ監督員の承認を受けること

役物の使用箇所

内装

出隅

天端

外装

出隅

窓台

マグサ（標準一体成型品又は接着成型品とする）

・タイル張替え工法（下地モルタルを撤去する場合）

既製調合モルタル（張り付け用に使用する場合）

2

ひび割れ部改修工法

【4.1.4】
【4.2.2】
【4.5.5、6】

※タイルを撤去して改修（撤去後の補修はタイル部分張替え工法による）

※樹脂注入工法

・タイルを撤去しない改修

※樹脂注入工法

3

欠損部改修工法

【4.1.4】
【4.2.2】
【4.5.5、6】

・タイル部分張替え工法

（欠損部の面積が0.25㎡/箇所以下の場合及び下地モルタルがある場合）

接着材の種類

※ポリマーセメントモルタル

・エポキシ樹脂

・タイル張替え工法（下地モルタルを撤去する場合）

既製調合モルタル（張り付け用に使用する場合）

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

位置

※改修標準仕様書表4.5.1による

タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験

・行う

・行わない

・セメントモルタルによる陶磁器質タイル（セラミックタイル）張り

タイル張りの工法

外装タイプ

・密着張り

・改良圧着張り

・改良積上げ張り

外装ユニットタイル

・マスク張り

・モザイクタイル張り

・有機系接着剤による陶磁器質タイル（セラミックタイル）張り

シーリング材の種類

打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地

※ポリウレタン系

伸縮調整目地その他の目地

※変成シリコン系

4

浮き部改修工法

【4.1.4】
【4.2.2】
【4.5.5、6】

・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法（・注入口付）

・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法（・注入口付）

・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法（・注入口付）

・注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法

注入口付アンカーピン本数

アンカーピン

※ステンレス鋼（SUS304）呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの

注入口付アンカーピン

※ステンレス鋼（SUS304）呼び径6mm

・タイル部分張替え工法

（下地モルタルを撤去する場合）

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

位置

※改修標準仕様書表4.5.1による

タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験

・行う

・行わない

・セメントモルタルによる陶磁器質タイル（セラミックタイル）張り

タイル張りの工法

外装タイプ

・密着張り

・改良圧着張り

・改良積上げ張り

外装ユニットタイル

・マスク張り

・モザイクタイル張り

・有機系接着剤による陶磁器質タイル（セラミックタイル）張り

シーリング材の種類

打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地

※ポリウレタン系

伸縮調整目地その他の目地

※変成シリコン系

5

目地改修工法

【4.1.4】
【4.5.16】

・目地ひび割れ部改修工法

・伸縮調整目地改修工法

位置及び寸法

※図示

6

外壁複合改修工法

平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修工法の開発」において、建設大臣の技術評価を取得した工法とする

1

仕上塗材仕上げ

【4.1.5】
【4.2.2】
【4.6.5】

建築物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外

仕上塗材の種類

種類

呼び名

防火材料

仕上後の形状及び工法等

・薄付け仕上塗材

・外装薄塗材S1

・可とう形外装薄塗材S1

・外装薄塗材E

・可とう形外装薄塗材E

・防水形外装薄塗材E

・外装薄塗材S

・厚付け仕上塗材

・外装厚塗材C

・外装厚塗材S1

・外装厚塗材E

・複層仕上塗材

・複層塗材CE

・可とう形複層塗材CE

・複層塗材S1

・複層塗材E

・複層塗材RE

・防水形複層塗材CE

・防水形複層塗材E

・防水形複層塗材RS

・可とう形改修塗材E

・可とう形改修塗材RE

・可とう形改修塗材CE

・ゆず肌状

・凸凹状

・凸凹状

・ゆず肌状

・可とう形改修塗材E

・可とう形改修塗材RE

・可とう形改修塗材CE

・耐水性

※耐水性3種

・溶媒

※水系

・溶剤系

・弱溶剤系

・樹脂

※アクリル系

・外観

※つやあり

・つやなし

・メタリック

2

所要量の確認

【4.6.2】

3

既存塗膜等の除去及び下地処理

【4.6.3】

塗膜はく離材

製造所（）

防火材料の指定箇所（）

既存塗膜の劣化部等の除去及び下地の処理の工法

※サンダー工法

処理範囲

・既存仕上り面全体

※図示の範囲

・高圧水洗工法

処理範囲

・既存仕上り面全体

※図示の範囲

・30MPa以上

・50MPa以上

・100MPa以上

（）MPa以上

・塗膜はく離利工法

処理範囲

・既存仕上り面全体

※図示の範囲

・処理範囲

※上記処理範囲以外の既存仕上り面全体

・示すの範囲

・水洗い工法

下地面の修補

外壁改修フロア及び数量による

下地調整塗料

※下地調整塗料

・ポリマーセメントモルタル

・防水形仕上塗材主材

4

マステック塗材塗り

【4.6.6】
【4.

1	建築改修工事	14	自閉式上吊り引戸装置 〔5.9.3〕	(試験方法) (1) 1名が時間 0.3m/秒の早さで移動している標準試験体が検出範囲に入ってから、0M信号を出力するまでの時間を測定する。 (2) 検出範囲 a. ゴムマットスイッチは、直径100mmの鋼製円柱（質量10kg）を不感部を除く全面に静かに置いたとき、確実に作動すること。 b. 上部取り付け形の動態検出形は、0.15m/secの速度で、検出範囲に近づけたとき確実に作動すること。 c. 上部取り付け形の静态検出形は、0.05m/secの速度で、検出範囲に近づけたとき、確実に作動すること。 注）取り付け位置などにより、上記よりよい場合は、当該センサーに適した方法の試験を行い確実に作動することを確認する。 ＜試験条件＞ (1) 黒目付センサー又は天井付センサーの検出体及び検出範囲試験は、JIS A 151の7.6による。 (2) 熱線スイッチ・・・被検出体表面温度、33±12℃とし、周辺温度は、被検出体表面温度より5℃(W-00B12℃低い値とする。 (3) 超音波スイッチ・・・温度-10℃、湿度75%、風速10m/secとする。 (4) 試験室の状態は、JIS 7 3003「試験場所の標準状態」の室温、相対湿度による。 (3) 放射射ノイズ 性能 ※改修標準仕様書表5.9.1による (試験) (1) 耐久性（開閉繰り返し）試験 閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制御装置のみにより戸を開閉位置から開閉位置までの動作を確認できる試験を行う。 開試験に用いる試験体は片引戸とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。 適用戸板質量の区分毎に試験を行う。自重質量、制御装置は10万円以上の時点で1回のみ調整を行えるものとし、また、その他の制御装置についてはメーカーの耐久性試験成績書において2万円以上の耐久性性能を確認することで、試験に代えることができるものとする。 (2) 衝撃衝撃試験 落下高さ17mmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。 衝撃衝撃試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。 適用戸板質量の区分毎に試験を行う。 (3) 気密性能試験 JIS A 1516「建具の気密性能試験方法」による。 シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧強度（ ）N/m ² ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度（ ）N/m ² ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 防火又は、防煙シャッターは、自動閉鎖装置及び随時閉鎖装置付とし、運動制御装置及び警報は別途とする 開閉機能による種類 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構 ※改修標準仕様書5.10.2(d) (4) (i)かつ(iii) 管理用シャッターのシャッターケース（防火、防煙以外） ※設ける ・設けない スラットの材料及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板） めっきの付着量 ※Z12 又は F12 開閉形式 ※手動式 ・上部電動式（手動併用） 耐風圧強度（ ）N/m ² スラットの材質 ※JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）又は、 JIS G 3318（塗装溶融亜鉛約5％アルミニウム合金鋼板及び鋼帯） スラットの形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 シャッターケース ガイドレールの材質 ※ステンレス製（SUS304）厚さ1.0mm（※中柱共 ） 底板（屋外の場合） ※ステンレス製底板 セクション材料による区分 ※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ 耐風圧性能 ・500Pa ・750Pa ・1000Pa ・1250Pa ・1700Pa 開閉形式による区分 ※バランスタイプ ・チェーン式 ・電動式 収納形式による区分 ・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パナチカル形 ガイドレールの材質 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板	20	ガラス窓材 〔3.7〕 〔5.13.2〕	・複層ガラス 品 種 断熱性 日射遮蔽へ性 ・断熱複層ガラス ・1種 U1 ・2種 U2 ・3種 ・U-3-1 ・U-3-2 ・日射遮蔽へい複層ガラス ・4種 E4 ・5種 E5 ・熱線反射ガラス 品 種 色 調 ※熱線反射ガラス ・ブルー ・グレー ・高性能熱線反射ガラス ・ブロンズ ・シルバー 品 種 日射遮蔽へ性 耐久性 ガラスの種類 ※熱線反射ガラス ・1種 A種 ・2種 ・A種 ・B種 ・高性能反射ガラス ・3種 B種 反射皮膜面 ・内面 ・外面 映像調整 ・行わない ・行う ・倍速ガラス 材料板ガラスによる種類の名称 色 調 ・フロート倍速ガラス 〔表3.7.1〕 建具の種類 材 種 鋼製及び構成数量 ※ シーリング材 アルミニウム製 ※ シーリング材 ・ ガスケット（グレイジングチャンネル形） ステンレス製 ※ シーリング材 木製 ※ シーリング材 防火戸のガラス窓材は、建築基準法に基づく防火性能の認定を受けた条件による 表面 呼び寸法 厚さ 色調 目地幅(mm) 伸縮調整 防火性能 形状 (mm) クリア 乳白 平積み 曲積み 目地 (mm) ・正方形 ・125×125 80 ・ ・ ・ ※8～15 外側 ※6mm以下 無無し ・160×160 ・95 ・ ・ ・ 15～25 ※15以下 ・ ・ ・ ・200×200 ・95 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・320×320 95 ・ ・ ・ 内側 ※6以上 ・長方形 ・250×125 80 ・ ・ ・ ・320×160 95 ・ ・ ・ 曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。 壁面金属材料及び補強材 ・設ける（形状 ※図示） ・設けない 材質 材質 ※ステンレス鋼（SUS304） 寸法 ※径5.5mm 形状 ※はしご形状補強及び単筋 化粧目地モルタルの色（ ） 金属材料化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ・図示 形状 ・図示 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の（ ・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 目地の力量補強方法 ※ガラスブロック製造時の仕様による ・図示	21	ガラスブロック積み 〔5.13.5〕	種 類 記号 張り面 性能による区分 備考 ・日射調整フィルム S C ※内張り ・外張り ・A ・B ・C 遮断性能 ・ガラス飛散防止フィルム G S ※内張り ・外張り ・A ・B 飛散防止性能 ・ガラス貫通防止フィルム S F ※内張り ・外張り ・A ・B 貫通防止性能 品質 JIS A 5759による 自動昇、電動シャッター、電動オーバーヘッドドアの電動機は三相電動機0.4KW以上の場合は、機器付属の操作盤内に電動機保護用遮断機及び相用コンデンサを設置する。	22	ガラス用フィルム	・既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁面及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存に準じた仕上げとする ○図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より面側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示 ・天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示 ビニル床シート等の撤去 ※仕上材のみ（接着剤とも） ・下地モルタルとも（・図示の範囲） ○撤去範囲全） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目置し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修部の端部より1mm程度 ・図示	23	付属電気設備	表面仕上げの種類 施工箇所 ・A種 ・B種 ・C種 ・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 施工箇所 樹 種 寸法 (mm) 等級 形状 含水率 間伐材等の適用 ※2級 ・ ※A種 ・B種 ・「製材の日本農林規格」による造作材針葉樹製材 施工箇所 樹 種 寸法 (mm) 等級 形状 含水率 間伐材等の適用 見え掛り面 ※上小節 ※A種 ・B種 見え掛り面 ※上小節以上 ※A種 ・B種 以外 ※A種 ・B種 ・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 施工箇所 樹 種 寸法 (mm) 等級 形状 含水率 間伐材等の適用 ※1等 ・ ※10%以下 ・A種 ・B種 ・「製材の日本農林規格」以外の製材 施工箇所 樹 種 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理 難燃処理 含水率 間伐材等の適用 () ・適用する ※A種 (※A種 ・B種) ・適用しない ・適用しない ・B種 ・代用樹脂を使用できない箇所（ ）	24	他部位との取り合い等 〔6.1.3〕	① ② 3 4	6	内装改修工事	15	重量シャッター 〔5.10.2.3〕	16	軽量シャッター 〔5.11.2～4〕	17	オーバーヘッドドア 〔5.12.2.3〕	18	木製建具 〔16.7.2～4〕	19	ガラス 〔3.7〕 〔5.13.2～4〕 〔表5.13.1〕	20	建築改修工事	21	建築改修工事	22	建築改修工事	23	建築改修工事	24	建築改修工事	25	建築改修工事	26	建築改修工事	27	建築改修工事	28	建築改修工事	29	建築改修工事	30	建築改修工事	31	建築改修工事	32	建築改修工事	33	建築改修工事	34	建築改修工事	35	建築改修工事	36	建築改修工事	37	建築改修工事	38	建築改修工事	39	建築改修工事	40	建築改修工事	41	建築改修工事	42	建築改修工事
---	--------	----	-----------------------	--	----	----------------------------	--	----	-----------------------	---	----	----------	---	----	--------	--	----	-----------------------	------------------	---	--------	----	-----------------------	----	-----------------------	----	-------------------------	----	--------------------	----	---	----	--------	----	--------	----	--------	----	--------	----	--------	----	--------	----	--------	----	--------	----	--------	----	--------	----	--------	----	--------	----	--------	----	--------	----	--------	----	--------	----	--------	----	--------	----	--------	----	--------	----	--------	----	--------	----	--------

内装改修工事	1	内装改修工事	2	1	内装改修工事	3	内装改修工事	4	内装改修工事	5	内装改修工事	6	内装改修工事	7	内装改修工事	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215
--------	---	--------	---	---	--------	---	--------	---	--------	---	--------	---	--------	---	--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

[illegible]

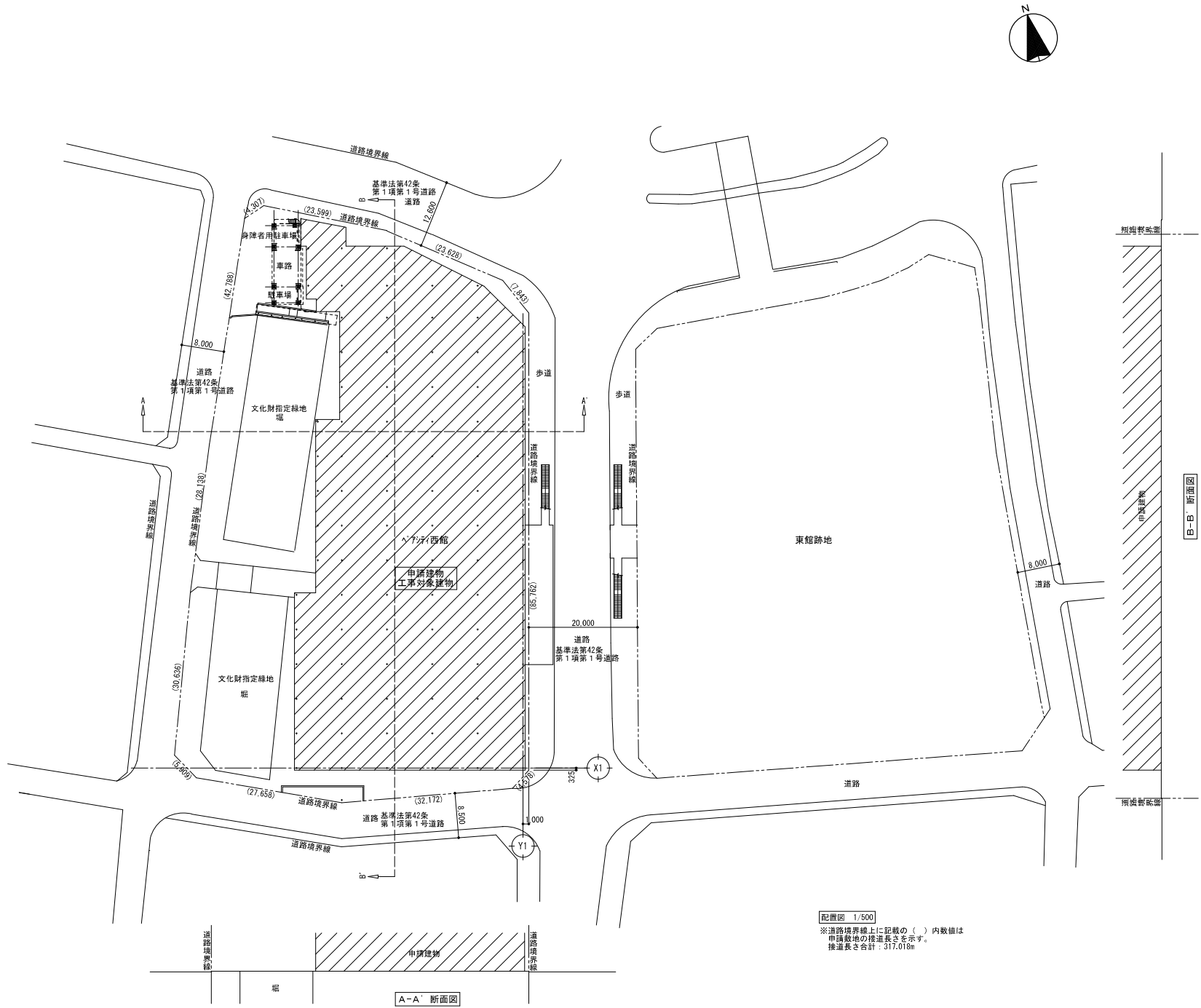
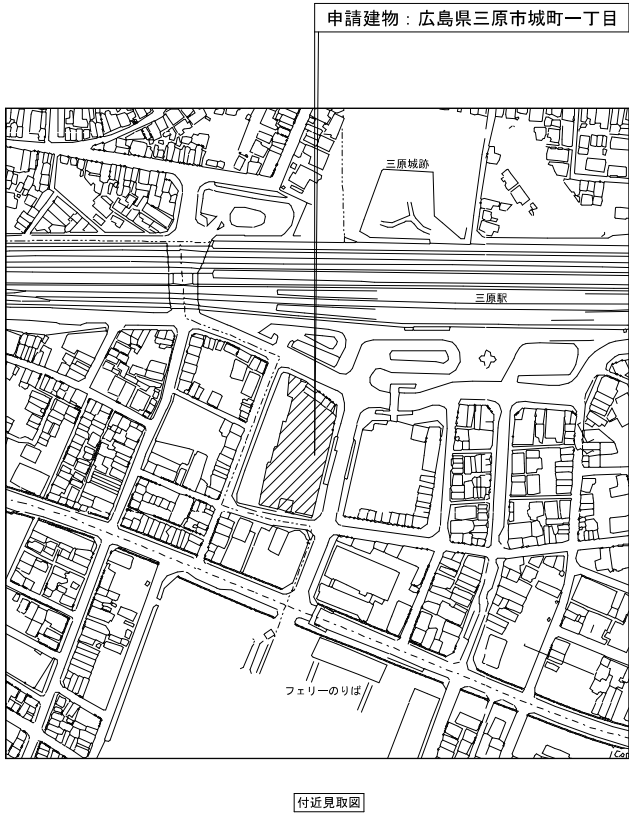
[illegible]

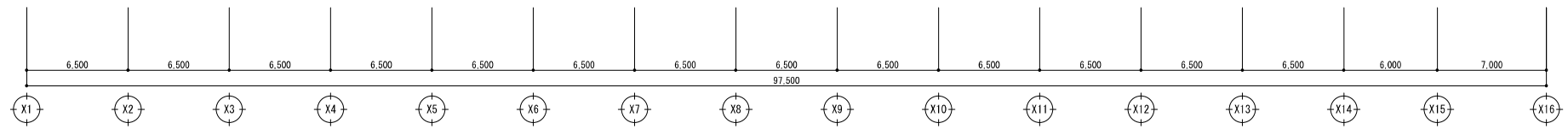
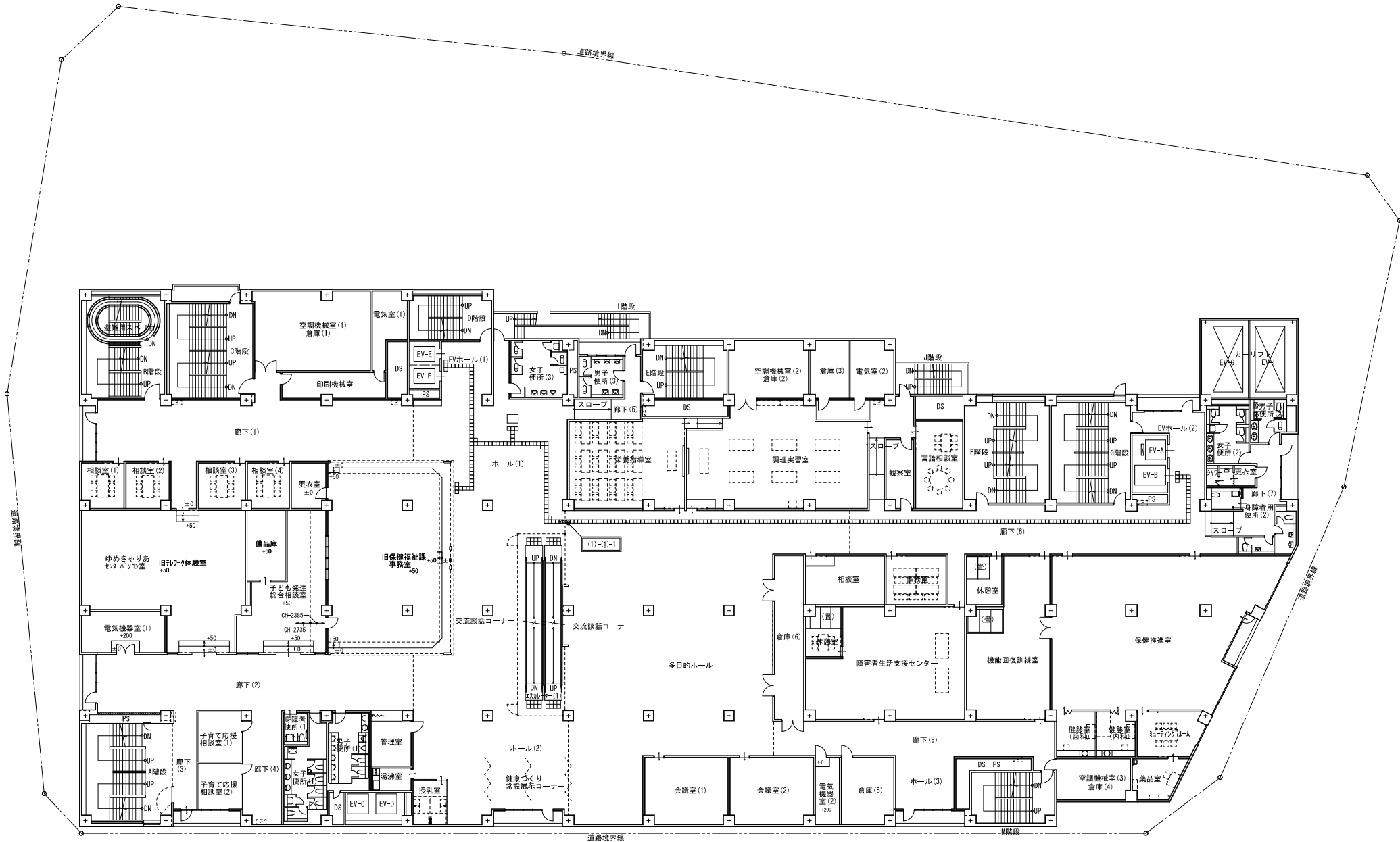
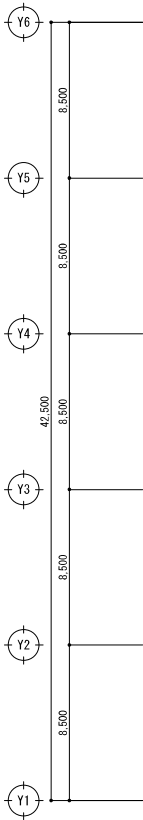
凡例					
塗料	区分	表示記号	名称	備考	
	○	SOP	合成樹脂顔合ペイント塗り		
床材	区分	表示記号	名称	備考	
	○	ビニ床9/4	コンポジション (KT) 厚2.0		
	○	ビニ床木	長尺ソフト木床 W-100		
壁・天井材	区分	表示記号	名称	防火性 (認定番号)	備考
	○	DB-NC	せっこうボード (不燃)	NW-0441	厚9.5
	○	せっこうボード (不燃)	NW-0619	厚12.5	
	○	DB-F	強化せっこうボード (不燃)	NW-0615	厚12.5、厚15、厚21
	○	壁紙A	ビニル壁紙 防火1級 (不燃)		
その他	区分	表示記号	名称	備考	
	○	木製机	MARUNI COLLECTION/オース HIROSHIMA ダインダータイプ180	数量: 5台	2階談話4-6
	○	木製椅子	MARUNI COLLECTION/オース HIROSHIMA 717	数量: 20席	2階談話4-6
	○	木製椅子	MARUNI COLLECTION/オース HIROSHIMA 7-145-7 (張席)	数量: 5席	2階遊戯室開演ナナ
	○	案内板	※上記案内板は機材・木工間様として、全て本工事とする。	数量: 8箇所	参考: 3階P7 P81
	○	案内板	SUS1890 W1800×H900×D25 74377-717-7 表示・平面図記入 デザイン料・材工共	数量: 4箇所	参考: 3階P7 P73
	○	案内板	FR-FE6018 W600×H1800×D15 74377-717-7 表示・平面図記入 デザイン料・材工共	数量: 8箇所	参考: 3階P7 P73
	○	案内板	FR-FE2090 W200×H900×D15 74377-717-7 表示・平面図記入 デザイン料・材工共		
	○	案内板	※上記案内板は機材・木工間様として、全て本工事とする。		
	○	案内板	なお、取り付け箇所及びデザインについては現場協議により決定とする。		

改修前													改修後																				
階数	室名	床			巾木			壁 (柱型・梁型・下り壁) ※下地(LGS2ヶ)巾は55			廻り縁	天井			天井高 F1より	備考	階数	室名	床			巾木			壁 (柱型・梁型・下り壁) ※下地(LGS2ヶ)巾は55			廻り縁	天井			天井高	備考
		下地	仕上	床高	仕上	塗装	下地	仕上	塗装	下地		仕上	塗装	下地					仕上	床高	仕上	塗装	下地	仕上	塗装	下地	仕上		床高	仕上	塗装		
3階	ホール(1) 交流談話コーナー	M	ビニル床材1/4厚2 一部平面図記載箇所【撤去】	±0	ビニル巾木 H=100 一部撤去	LGS M	GB-R厚12.5の上ビニル貼貼(不燃) 柱型:ビニル貼貼(不燃) 【X8通り面の新設設置位置範囲の仕上材 ビニル貼貼のみ撤去】 ※柱型は新設防火戸枠より150mm範囲	塩ビ 一部 撤去	LGS 一部 撤去	GB-D厚9.5 (900角) 一部天井伏図記載箇所 【下地LGS共全て撤去】	2700 一部 2500	点字9ヶ(誘導)3枚【撤去】	3階	ホール(1) 交流談話コーナー	M	ビニル床材1/4厚2 一部平面図記載箇所【新設】	±0	ビニル巾木 H=100 一部 新設	LGS M	GB-R厚12.5の上ビニル貼貼(不燃) 一部平面図記載箇所【下地LGS共全て新設】 柱型:ビニル貼貼(不燃)【一部新設】	塩ビ 一部 新設	LGS 一部 新設	GB-D厚9.5 (900角) 一部天井伏図記載箇所 【下地LGS共全て新設】	2700 一部 2500	点字9ヶ(誘導)3枚【新設】								
	ホール(2) 健康づくり常設 展示コーナー 交流談話コーナー	M	ビニル床材1/4厚2 一部平面図記載箇所【撤去】	±0	ビニル巾木 H=100 一部撤去	M	柱型:ビニル貼貼(不燃) 【X8通り面の新設防火戸設置範囲の 仕上材ビニル貼貼のみ撤去】 ※X8ルーフ面は柱型は新設防火戸枠 より150mm範囲	塩ビ 一部 撤去	LGS 一部 撤去	GB-D厚9.5 (900角) 一部天井伏図記載箇所 【下地LGS共全て新設】	2700 一部 2500			ホール(2) 交流談話コーナー	M	ビニル床材1/4厚2 一部平面図記載箇所【新設】	±0	ビニル巾木 H=100 一部 新設	LGS M	GB-R厚15+15の上ビニル貼貼(不燃) 一部平面図記載箇所【下地LGS共全て新設】 ※上記LGS下地壁の削削工事箇所との仕様 増築については、前面工事の現場変更にて 対応すること。【一部新設】	塩ビ 一部 新設	LGS 一部 新設	GB-D厚9.5 (900角) 一部天井伏図記載箇所 【下地LGS共全て新設】	2700 一部 2500									
			M											管理室	M	0A707-(H=100用)下地 材貼付(厚6.5) 【下地共全て新設】 増築部:ビニル床材1/4厚2.5【新設】 ※上記仕上は全て別途工事	+100 ±0	ビニル巾木 H=100 新設	LGS	GB-R厚15+15の上ビニル貼貼(不燃) 一部平面図記載箇所【下地LGS共全て新設】	塩ビ 新設 ※上記別 途	LGS	GB-D厚9.5 【下地LGS共全て新設】 ※上記仕上は全て別途工事	2700									
4階	ホール(2) 展示コーナー 8ヶ(5)	M	ビニル床材1/4厚2 一部平面図記載箇所【撤去】	±0	ビニル巾木 H=100 一部撤去	LGS M	GB-R厚12.5の上ビニル貼貼(不燃) 柱型:ビニル貼貼(不燃) 【X8通り面及び廊下(5)面の新設設置位置範囲 の仕上材ビニル貼貼のみ撤去】 ※柱型は新設防火戸枠より150mm範囲	塩ビ 一部 撤去	LGS 一部 撤去	GB-D厚9.5 (900角) 一部天井伏図記載箇所 【下地LGS共全て撤去】	2800 一部 2500	点字9ヶ(誘導)3枚【撤去】	4階	ホール(2) 展示コーナー 8ヶ(5)	M	ビニル床材1/4厚2 一部平面図記載箇所【新設】	±0	ビニル巾木 H=100 一部 新設	LGS M	GB-R厚21+21の上ビニル貼貼(不燃) 一部平面図記載箇所【下地LGS共全て新設】 柱型:ビニル貼貼(不燃)【一部新設】	塩ビ 一部 新設	LGS 一部 新設	GB-D厚9.5 (900角) 一部天井伏図記載箇所 【下地LGS共全て撤去】	2800 一部 2500	点字9ヶ(誘導)3枚【新設】								
	福祉機器常設 展示コーナー 8ヶ(5)	M	ビニル床材1/4厚2 一部平面図記載箇所【撤去】	±0	ビニル巾木 H=100 一部撤去	M	柱型:ビニル貼貼(不燃) 【X8通り面の新設防火戸設置範囲の 仕上材ビニル貼貼のみ撤去】 ※X8ルーフ面は柱型は新設防火戸枠 より150mm範囲	塩ビ 一部 撤去	LGS 一部 撤去	GB-D厚9.5 (900角) 一部天井伏図記載箇所 【下地LGS共全て新設】	2800 一部 2500			福祉機器常設 展示コーナー 8ヶ(5)	M	ビニル床材1/4厚2 一部平面図記載箇所【新設】	±0	ビニル巾木 H=100 一部 新設	LGS M	GB-R厚21+21の上ビニル貼貼(不燃) 一部平面図記載箇所【下地LGS共全て新設】 柱型:ビニル貼貼(不燃)【一部新設】	塩ビ 一部 新設	LGS 一部 新設	GB-D厚9.5 (900角) 一部天井伏図記載箇所 【下地LGS共全て撤去】	2800 一部 2500									
		喫茶コーナー	M	ビニル床材1/4厚2 一部平面図記載箇所【撤去】	±0	ビニル巾木 H=100 一部撤去	LGS	GB-R厚12.5の上ビニル貼貼(不燃) ※一部X8通り面の新設防火戸設置範囲の 既設防火戸【撤去】 既設置【下地LGS共全て撤去】	塩ビ 一部 撤去	LGS 一部 撤去	GB-D厚9.5 一部天井伏図記載箇所 【下地LGS共全て撤去】	2700		喫茶コーナー	M	ビニル床材1/4厚2 一部平面図記載箇所【新設】	±0	ビニル巾木 H=100 一部 新設	LGS M	GB-R厚12.5+GB-NC厚9.5の上 ビニル貼貼(不燃) 【下地LGS及び防火戸戸部共全て新設】 ※防火戸戸枠と床境段設置取り合い小口部は GB-R厚12.5の上ビニル貼貼(不燃)	塩ビ 一部 新設	LGS 一部 新設	GB-D厚9.5 一部天井伏図記載箇所 【下地LGS共全て新設】	2700									
改修前 特記事項													改修後 特記事項																				
													1. 3階及び4階のエスカレーター横の新設防火戸において、天井高さがGH-2700及びGH-2800の部分のX8通り側の防火戸上部の壁仕上げ(天井まで)は下記仕様とする。 LGS下地GB-R厚12.5の上ビニル貼貼(不燃) 2. 上記防火戸設置箇所の常時開放放火戸の常開時の扉収納箇所背面壁は、開放位置埋込用にて上記仕上表記記載の区画用壁施工後、LGS2ヶ(巾65下地GB-R厚12.5の上ビニル貼貼とする。 3. 3階及び4階の廊下は3,900mmであるので、各階の床仕上げより上り廊下ラックまでの内径寸法は3,150mmとする。 4. 本設計における両面記載の形状・仕様は設計上の概要を示すものであり、施工に際しては現場調査確認の上で係員と協議後、支障なくように施工を行うこと。																				

改修後														
階数	室名	床		巾木		壁 (柱型・梁型・下り壁) ※下地LGSカット巾は55			廻り縁	天井			天井高	備考
		下地	仕上	床高	仕上	塗装	下地	仕上		塗装	下地	仕上		
1階【撤去】	ホール(1) 交流談話コーナー	M	ビニル床3/4厚2 一部平面図記載箇所【新設】	±0	ビニル巾木 H=100 一部 新設	LGS	GB-F厚21・21の上 ビニル貼(不燃) 一部平面図記載箇所【下地LGS共全て新設】 柱型:ビニル貼(不燃)【一部新設】		塩ビ 一部 新設	LGS	GB-D厚9.5(900角) 一部天井伏図記載箇所 【下地LGS共全て新設】		2700 一部 2500	点字3/4(誘導)3枚【新設】
3階	ホール(2) 交流談話コーナー	M	ビニル床3/4厚2 一部平面図記載箇所【新設】	±0	ビニル巾木 H=100 一部 新設	LGS	GB-F厚15・15の上 ビニル貼(不燃) 一部平面図記載箇所【下地LGS共全て新設】 ※上記LGS下地壁の前面工事箇所との仕様増減については、前面工事の現場変更にて対応すること。【一部新設】		塩ビ 一部 新設	LGS	GB-D厚9.5(900角) 一部天井伏図記載箇所 【下地LGS共全て新設】		2700 一部 2500	
	管理室	M	0A707=(H=100用)下地 3/4厚ベニール厚6.5 【下地共全て新設】 新設部:ビニル床3/4厚2.5【新設】 ※上記仕上りは全て別途工事	+100 ±0	ビニル巾木 H=100 新設	LGS	GB-F厚15・15の上 ビニル貼(不燃) 一部平面図記載箇所【下地LGS共全て新設】		塩ビ 新設 ※上記別 途	LGS	GB-D厚9.5 【下地LGS共全て新設】 ※上記仕上りは全て別途工事		2700	
4階【撤去】	ホール(2) 廊下(5) 8-9(5)	M	ビニル床3/4厚2 一部平面図記載箇所【新設】	±0	ビニル巾木 H=100 一部 新設	LGS	GB-F厚21・21の上 ビニル貼(不燃) 一部平面図記載箇所【下地LGS共全て新設】 柱型:ビニル貼(不燃)【一部新設】		塩ビ 一部 新設	LGS	GB-D厚9.5(900角) 一部天井伏図記載箇所 【下地LGS共全て撤去】		2800 一部 2500	点字3/4(誘導)3枚【新設】
4階	福祉機器常設 展示コーナー(5)	M	ビニル床3/4厚2 一部平面図記載箇所【新設】	±0	ビニル巾木 H=100 一部 新設	LGS	GB-F厚21・21の上 ビニル貼(不燃) 一部平面図記載箇所【下地LGS共全て新設】 柱型:ビニル貼(不燃)【一部新設】		塩ビ 一部 新設	LGS	GB-D厚9.5(900角) 一部天井伏図記載箇所 【下地LGS共全て撤去】		2800 一部 2500	
	喫茶コーナー	M	ビニル床3/4厚2 一部平面図記載箇所【新設】	±0	ビニル巾木 H=100 一部 新設	LGS	GB-R厚12.5・GB-N厚9.5の上 ビニル貼(不燃) 【下地LGS及び部火戸床部共全て新設】 ※防火戸戸袋と残置脱役取り合い小口部は GB-R厚12.5の上 ビニル貼(不燃)		塩ビ 一部 新設	LGS	GB-D厚9.5 一部天井伏図記載箇所 【下地LGS共全て新設】		2700	
改修後 特記事項		1. 3階及び4階のエスカレーター横の新設防火戸において、天井高さがGH=2700及びGH=2800の部分のX8通りの防火戸上部の壁仕上げ(天井まで)は下記仕様とする。 2. 上記防火戸設置箇所の常時開放防火戸の常開時の厚収納箇所背面壁は、開放装置増込用に上記仕上裏記載の区画用壁施工後、LGSカット巾65下地GB-R厚12.5の上 ビニル貼とする。 3. 3階及び4階の階高は3,900mmであるので、各階の床仕上げ面より上部床スラブ下までの内法寸法は3,750mmとする。 4. 本設計における前面記載の形状・仕様は設計上の概要を示すものであり、施工に際しては現場調査確認の上で指図と協議後、支障なきよう施工を行うこと。												

号	一級建築士 第30104号 大谷 健 創	工事名	図面内容・縮尺	設計 令和元年 9 月
	承認	パシィ三原西館改修工事	工事概要・改修内容一覧表 共通事項・凡例 内装仕上表 (改修前・改修後)	





(1)~(1)-1

点字タイル敷設箇所 撤去凡例

既設床仕上材撤去箇所を示す。
3階数量：304.8角にて3枚分

建具符号凡例

撤去建具（移共）を示す

A1版：100%
A2版：71%
A3版：50%

株式会社 村田相互設計
MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES

一級建築士事務所
広島県知事登録 19(1)第 1573号

一級建築士 第301045号
大谷 健 剛

承認

工事名

ベアシティ三原西館改修工事

図面内容・縮尺

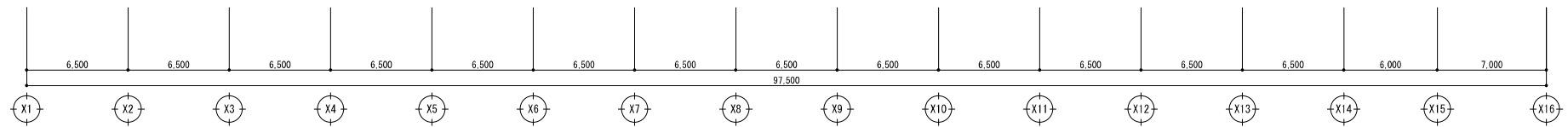
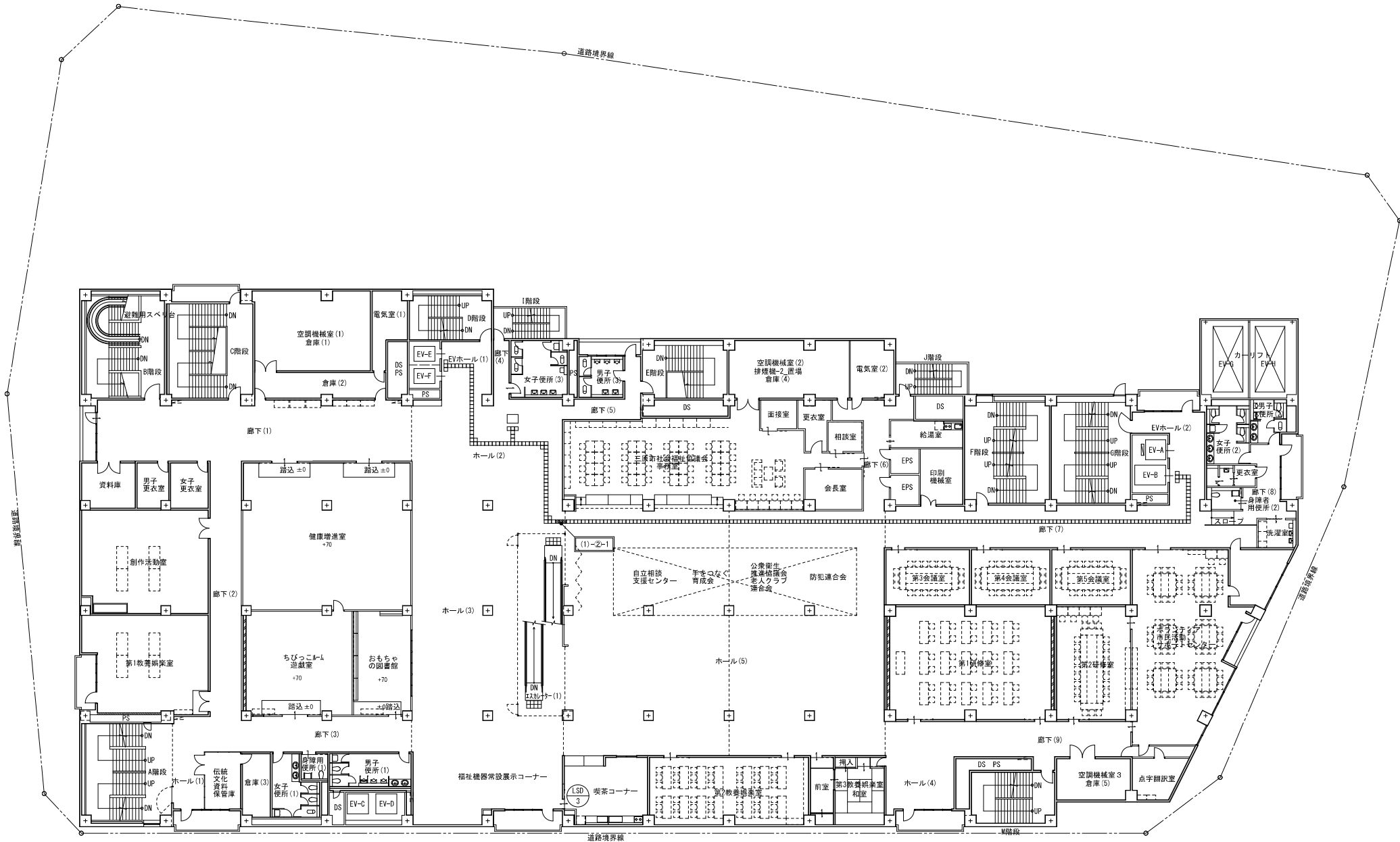
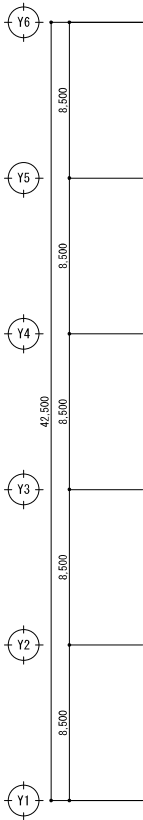
3階平面図（建具配置図）（改修前）

設計

令和元年 9 月

図面番号

A
010



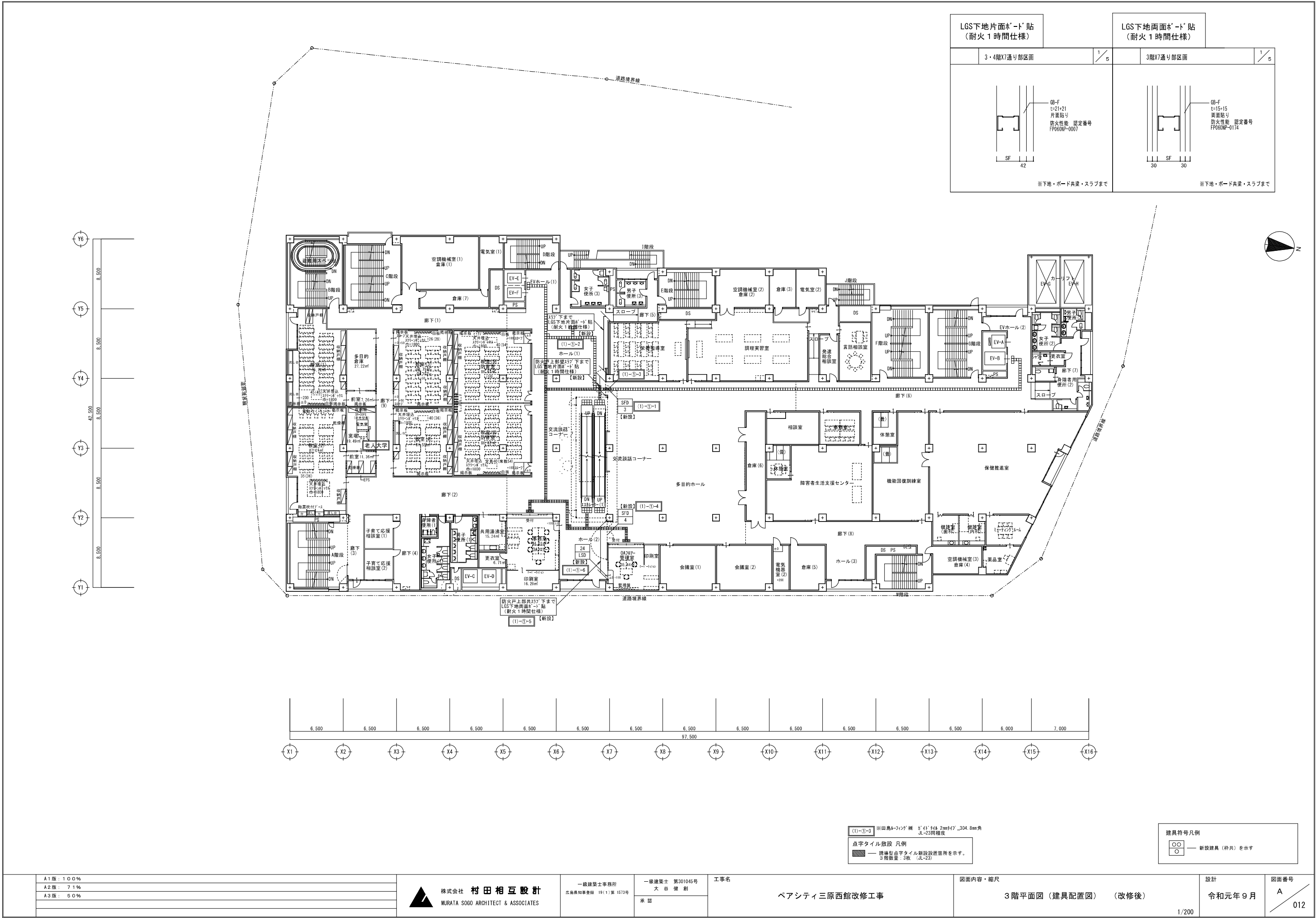
(1)~(2)-1

点字タイル敷設箇所 撤去凡例

既設床仕上材撤去箇所を示す。
4階敷量：304.8角にて3枚分

建具符号凡例

撤去建具（特共）を示す



LGS下地片面ボート貼 (耐火1時間仕様)		LGS下地両面ボート貼 (耐火1時間仕様)	
3・4階X7通り部区分		3階X7通り部区分	
※下地・ボード共築・スラブまで		※下地・ボード共築・スラブまで	

(1)-①-3 ※田島4-フィンガ 網 h'41'34.2mm97_204.8mm角 JL-23同程度

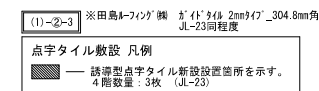
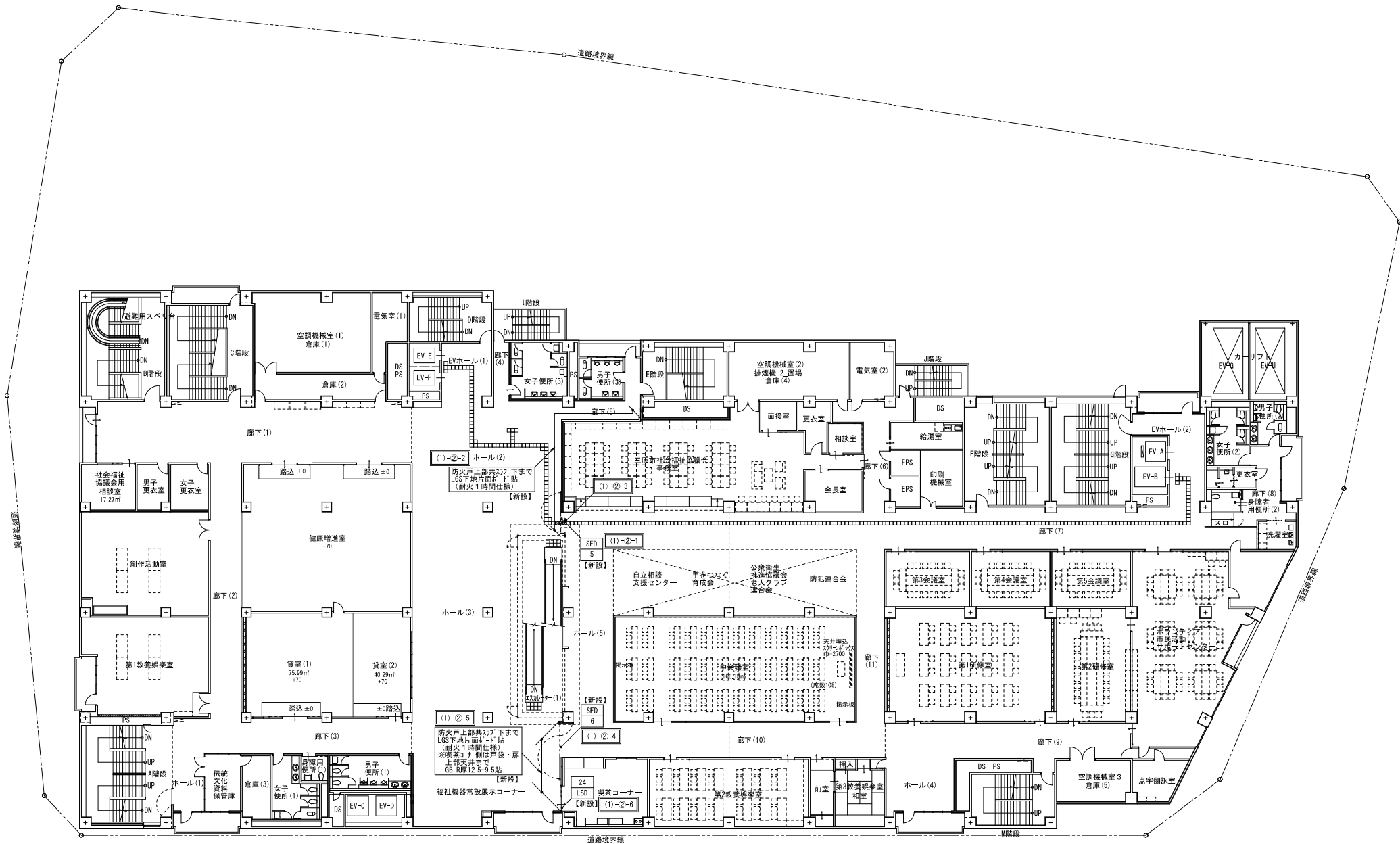
点字タイル敷設 凡例

標準型点字タイル新設設置箇所を示す。
3階数量:3枚 (JL-23)

建具符号凡例

○ ○ — 新設建具 (特共) を示す

A1版: 100%			株式会社 村田相互設計 MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES	一級建築士事務所 広島県知事登録 19(1)第 1573号	一級建築士 第301045号 大 谷 優 朗	工事名 ペアシティ三原西館改修工事	図面内容・縮尺 3階平面図 (建具配置図) (改修後)	設計 令和元年9月	図面番号 A 012
A2版: 71%					承認				
A3版: 50%									
								1/200	



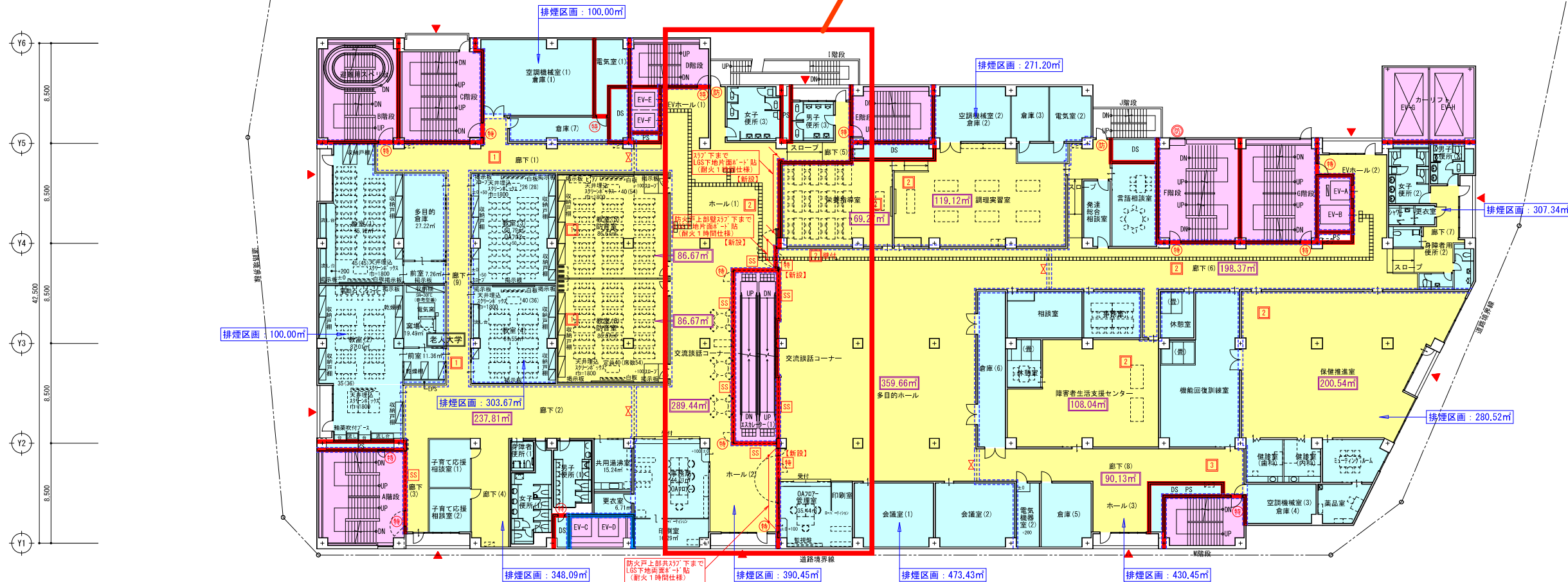
建具符号凡例

 — 新設建具（枠共）を示す

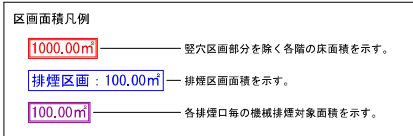
面番号
A
013



工事範囲

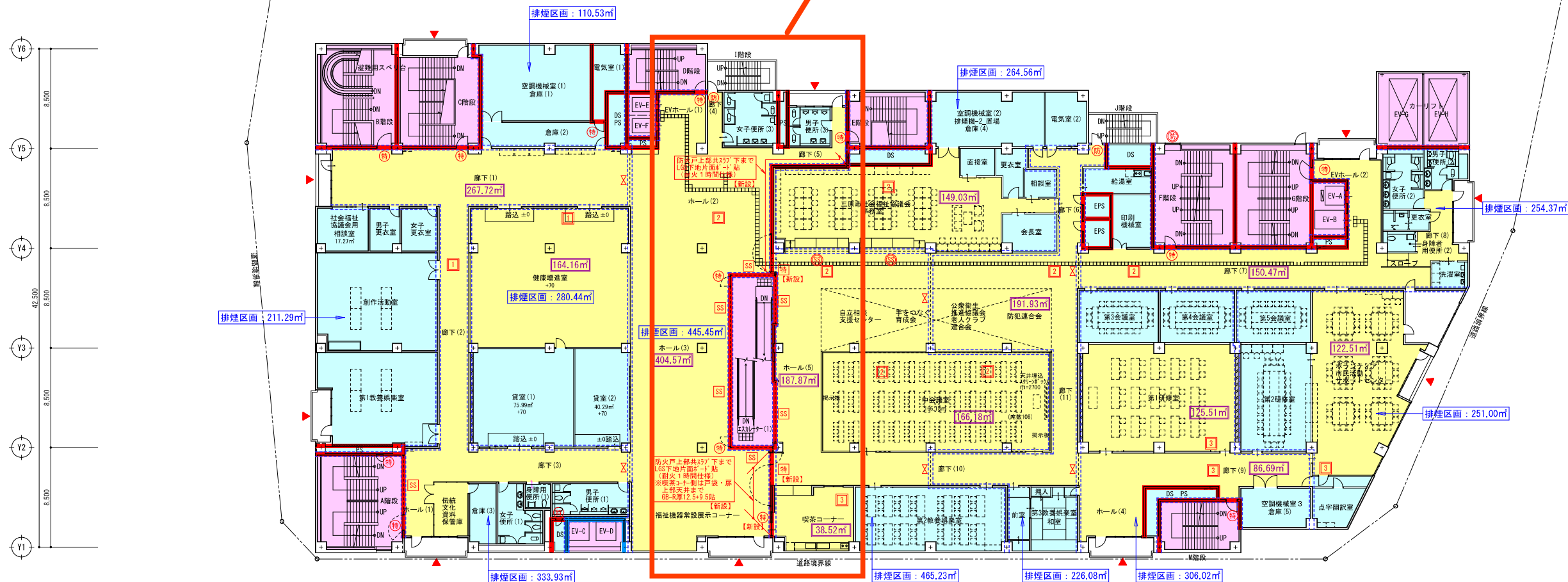


- 凡例 ※下記に関連する防火戸は施行令第112条第13項によること。
- 施行令第112条第1項適用部分を示す。【面積区画ライン (1,500㎡以下、但し、SP設置部は3,000㎡以下)】
 - 施行令第112条第2項適用部分を示す。【異種用途区画ライン】
 - 施行令第126条第2項1項適用部分を示す。【排煙区画ライン (500㎡以下)】
 - 施行令第114条の風洞の貫通部 (界壁等) 適用部分を示す。【114条区画ライン】
 - 施行令第112条第9項適用部分を示す。【壁穴区画】
 - 平成12年建設省告示第1436号-四ハ適用部分を示す。
 - 機械排煙設備設置部分を示す。
 - 特定防火設備 (常時開放式防火防煙戸) を示す。
 - 特定防火設備 (常時閉鎖式防火防煙戸) を示す。
 - 防火設備 (常時閉鎖式防火戸) を示す。
 - 特定防火設備 (常時開放式防火防煙シャッター) を示す。
 - 防火設備 (常時閉鎖式防火シャッター) を示す。
 - 法第2条第9号の二(ロ)の防火設備を示す。【延焼のおそれのある部分の防火設備】
 - 防犯用シャッター (管理用) を示す。
 - 防煙垂れ壁 (常時収納式煙感知器連動にて降下式) 設置部分を示す。
 - 防煙垂れ壁 (常時固定式) 設置部分を示す。
 - 機械排煙口設置位置を示す。【数値は排煙機番号】
 - スプリンクラー設備設置部分を示す。
 - 避難段・EV・DS・PS・電気室・便所等水廻り以外全て
 - 移動式粉末消火設備・ハロゲン化物消火設備設置部分を示す。
 - 非常用出入口設置位置を示す。
 - 特定防火設備 (常時開放式防火シャッター) を示す。※排煙区画部分については、防煙垂れ壁併用

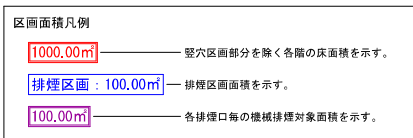
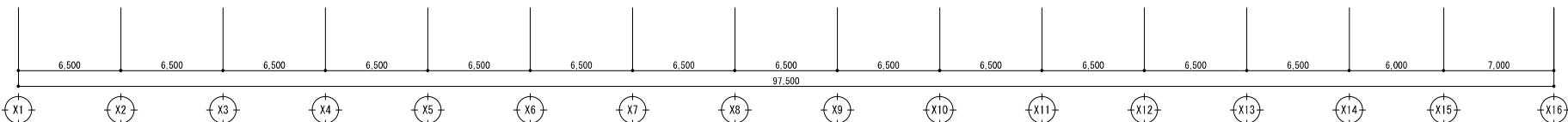


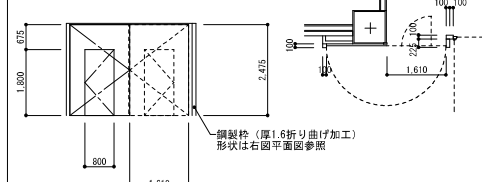
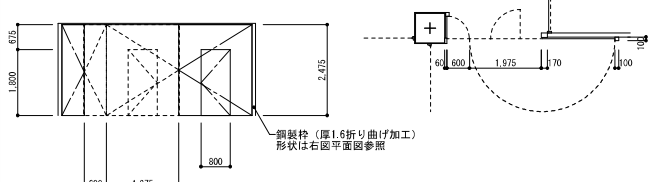
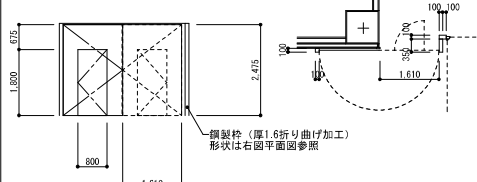
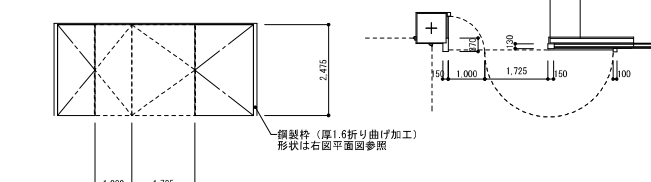
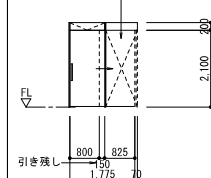
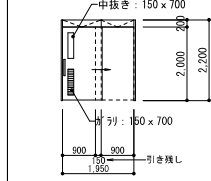


工事範囲

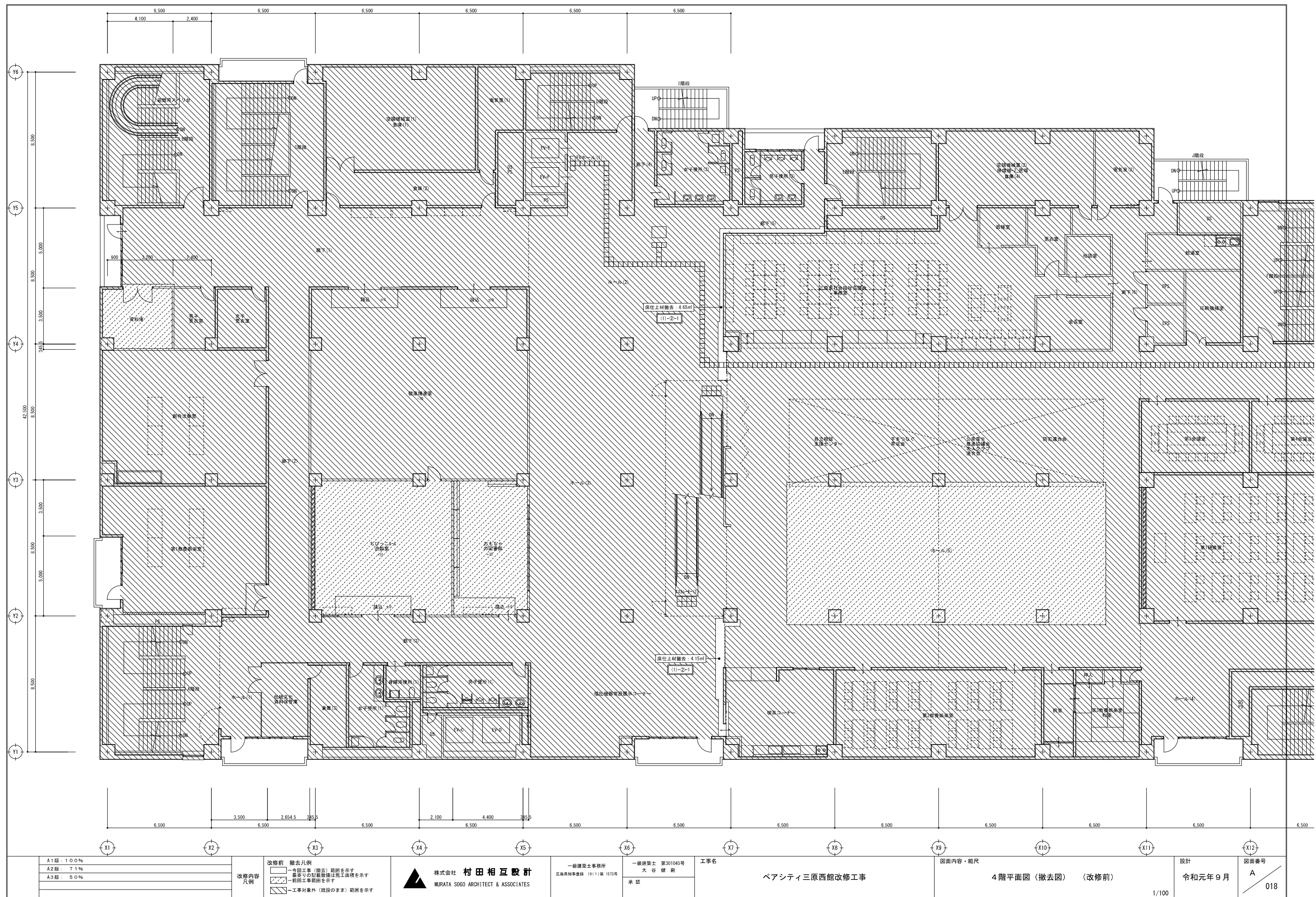


- 凡例 ※下記に関連する防火戸は施行令第112条第13項によること。
- 施行令第112条第1項適用部分を示す。【面積区画ライン (1,500㎡以下、但し、SP設置部は3,000㎡以下)】
 - 施行令第112条第12項適用部分を示す。【異種用途区画ライン】
 - 施行令第126条の2第1項適用部分を示す。【排煙区画ライン (500㎡以下)】
 - 施行令第114条の風洞の貫通部 (界壁等) 適用部分を示す。【114条区画ライン】
 - 施行令第112条第9項適用部分を示す。【壁穴区画】
 - 平成12年建設省告示第1436号-四-ハ適用部分を示す。
 - 機械排煙設備設置部分を示す。
 - 特定防火設備 (常時開放式防火防煙戸) を示す。
 - 特定防火設備 (常時閉鎖式防火防煙戸) を示す。
 - 防火設備 (常時閉鎖式防火戸) を示す。
 - 特定防火設備 (常時開放式防火防煙シャッター) を示す。
 - 防火設備 (常時閉鎖式防火シャッター) を示す。
 - 法第2条第9号の二 (ロ) の防火設備を示す。【延焼のおそれのある部分の防火設備】
 - 防犯用シャッター (管理用) を示す。
 - 防煙垂れ壁 (常時収納式煙感知器連動にて降下式) 設置部分を示す。
 - 防煙垂れ壁 (常時固定式) 設置部分を示す。
 - 機械排煙口設置位置を示す。(数値は排煙機番号)
 - スプリンクラー設備設置部分を示す。
※階段・EV・DS・PS・電気室・便所等水廻り以外全て
 - 移動式粉末消火設備・ハロゲン化物消火設備設置部分を示す。
 - 非常用出入口設置位置を示す。
 - 特定防火設備 (常時開放式防火シャッター) を示す。※排煙区画部分については、防煙垂れ壁併用



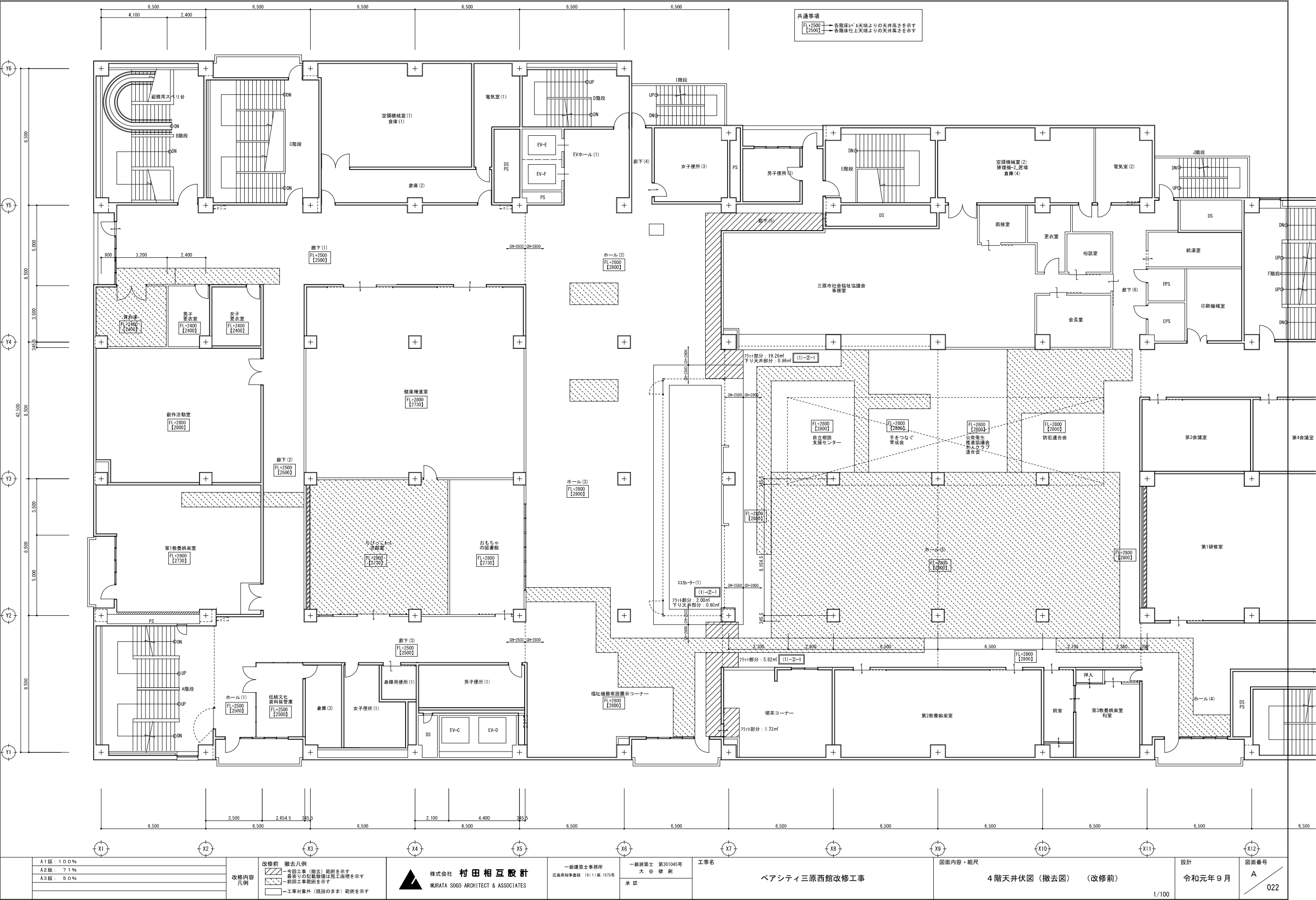
符 号 式	SFD 3	鋼製片開き戸（常時開放式）	SFD 4	鋼製両開き戸（常時開放式）	SFD 5	鋼製片開き戸（常時開放式）	SFD 6	鋼製両開き戸（常時開放式）	
設置箇所	3階8-B(1)		3階8-B(2)		4階8-B(2)		4階福祉機器常設展示コーナー		
形 状									
数 量	1箇所		1箇所		1箇所		1箇所		
見 込	枠：130mm 扉：50mm（潜り戸は40mm）		枠：130mm 扉：50mm（潜り戸は40mm）		枠：130mm 扉：50mm（潜り戸は40mm）		枠：130mm 扉：40mm		
ガラス									
材質・塗装	枠：鋼製 SOP塗 扉：鋼製 SOP塗		枠：鋼製 SOP塗 扉：鋼製 SOP塗		枠：鋼製 SOP塗 扉：鋼製 SOP塗		枠：鋼製 SOP塗 扉：鋼製 SOP塗		
金物	ケースリットル、軸吊ビン、据位調整器、ドアフィッパ（ストッパなし） 潜り戸：オートロック（ストッパなし）、ケースリットル		ケースリットル、軸吊ビン、据位調整器、ドアフィッパ（ストッパなし） 潜り戸：オートロック（ストッパなし）、ケースリットル		ケースリットル、軸吊ビン、据位調整器、ドアフィッパ（ストッパなし） 潜り戸：オートロック（ストッパなし）、ケースリットル		ケースリットル、軸吊ビン、据位調整器、ドアフィッパ（ストッパなし）		
備考	煙感知器連動閉鎖方式		煙感知器連動閉鎖方式		煙感知器連動閉鎖方式		煙感知器連動閉鎖方式		
工事内容	扉・枠共新設		扉・枠共新設		扉・枠共新設		扉・枠共新設		
符 号 式	LSD 24	鋼製特製片引き戸（ハンガードア） （高戸袋ボート納まりタイプ）							
設置箇所	3階管理室、4階喫茶コート								
形 状									
数 量	2箇所								
見 込	枠：135mm 扉：35mm								
ガラス									
材質・塗装	枠：焼付塗装 扉：化粧鋼板								
金物	引手、シリンダー錠 他ハンガードア用標準金物一式								
備考									
工事内容	扉・枠共新設								
符 号 式	LSD 3	鋼製特製片引きガラス戸 （ハンガータイプ）							
設置箇所	4階喫茶コーナー								
形 状									
数 量	1箇所								
見 込	枠：130mm 扉：40mm								
ガラス	中抜き：透明ガラス 厚3mm								
材質・塗装	枠：SOP塗 扉：化粧鋼板								
金物	引手、シリンダー錠 他ハンガードア用標準金物一式								
備考									
工事内容	扉・枠共撤去								
符 号 式									
設置箇所									
形 状									
数 量									
見 込									
ガラス									
材質・塗装									
金物									
備考									
工事内容									
	A1版：100% A2版： 71% A3版： 50%		 株式会社 村田相互設計 MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES	一級建築士事務所 広島県知事登録 19(1)第 1573号	一級建築士 第301045号 大 谷 健 剛 承認	工事名 ペアシティ三原西館改修工事	図面内容・縮尺 建具表（新設・撤去）	設計 令和元年9月	図面番号 A 016
	1/100								











共通事項
FL+2500 → 各階床レベル天井高さを示す
FL+2800 → 各階床レベル天井高さを示す

A1版: 100%
A2版: 71%
A3版: 50%

改修前	撤去凡例
○	今回工事（撤去）範囲を示す
△	変更の記載範囲は施工面積を示す
□	前回工事範囲を示す
■	工事対象外（既設のまま）範囲を示す

 株式会社 村田相互設計
MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES

一級建築士事務所 広島県知事登録 19(1)第 1573号	一級建築士 第301045号 大谷 健 剛	工事名 承認
----------------------------------	--------------------------	-----------

ペアシティ三原西館改修工事

図面内容・縮尺
4 階天井伏図（撤去図）（改修前）
1/100

設計 令和元年 9 月	図面番号 A 022
----------------	------------------



A1版: 100%
A2版: 71%
A3版: 50%

改修前	新設凡例
—	今回工事 (新設) 範囲を示す
—	変更前の記載設備は施工範囲を示す
—	前回工事範囲を示す
—	工事対象外 (既設のまま) 範囲を示す

 株式会社 村田相互設計
MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES

一級建築士事務所
広島県知事登録 19(1)第 1573号

一級建築士 第301045号
大谷 健 創

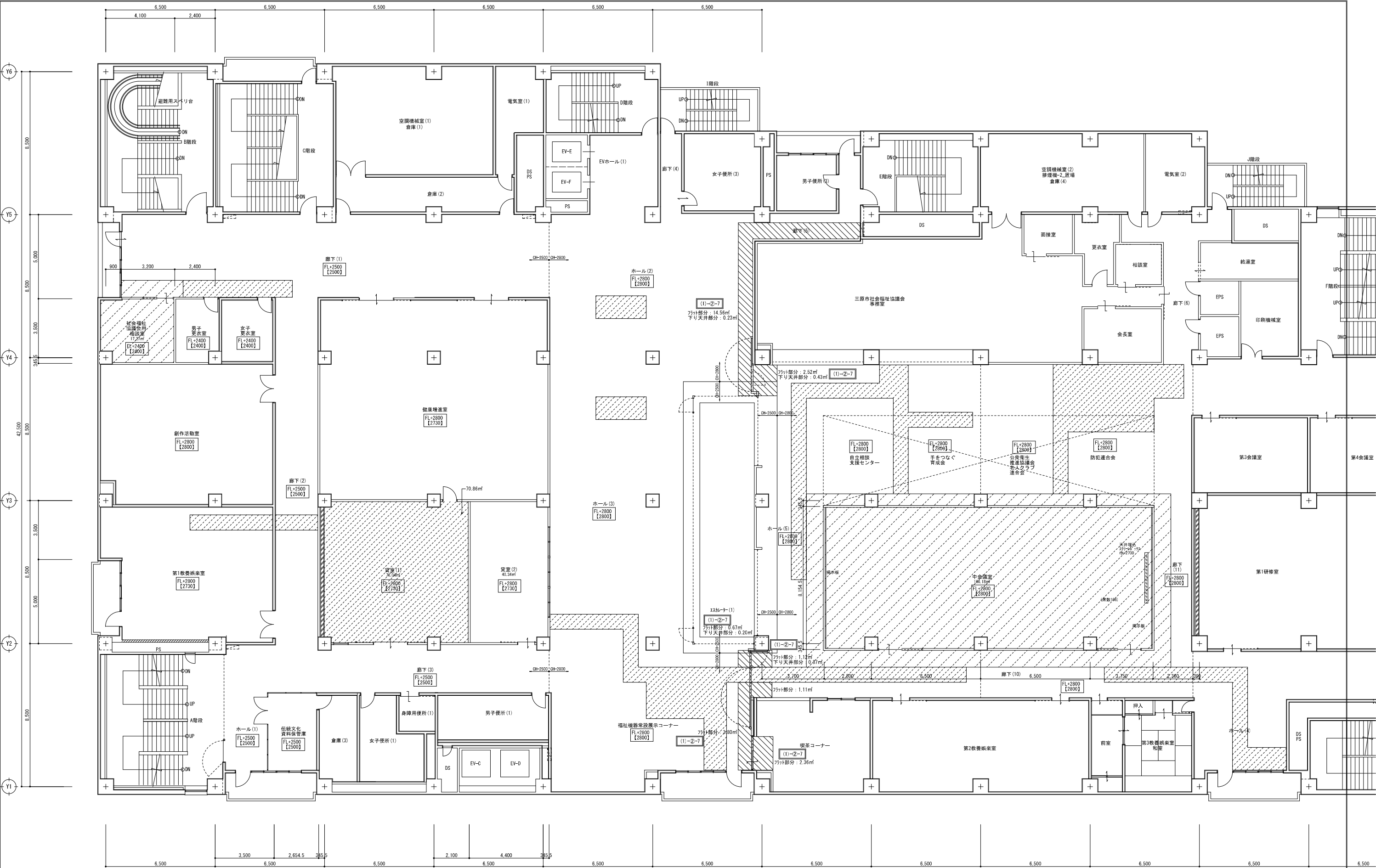
承認

工事名
ベアシティ三原西館改修工事

図面内容・縮尺
3階天井伏図 (改修後)

設計
令和元年 9月

図面番号
A
023



参考数量書

工 事 名 称 ペアシティ三原西館改修工事

工 事 場 所 三原市城町一丁目

[工事概要]

用途,構造,面積	用途：店舗，事務所，ホテル，児童館，老人大学等 構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 7 階建て 延べ床面積：21,374.7㎡	
工 事 範 囲	建築主体工事	
別 途 工 事	建築主体工事，電気設備工事，空調換気設備工事，給排水衛生設備工事，長寿命化改修工事	
工 期	契約締結日の翌日 ～ 令和2年7月30日	
一 般 事 項		
《 工事予算内訳 》 合 計 金 額		
〈内 訳〉		
区 分	金 額	概 要
設 計 金 額		
消 費 税 額		
合 計 金 額		

工事費内訳

1

名	称	数	量	単 位	金	額	備	考
直接工事費								
建築工事			1	式				
計								
共通費								
共通仮設費			1	式				
現場管理費			1	式				
一般管理費			1	式				
契約保証費			1	式				
計								
工事価格			1	式				
消費税等相当額			1	式			消費税率 10 %	
工事費			1	式				

工事種別内訳

2

[illegible]

改修工事 種目別内訳

3

[illegible]

改修工事 科目別内訳

4

(1)面積区画改修工事

[illegible]

改修工事 科目別内訳

5

(2) その他工事

[illegible]

改修工事 細目別内訳

[illegible]

改修工事 細目別内訳

7

[illegible]

改修工事 細目別内訳

8

(1) 面積区画改修工事		建具改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(鋼製建具)						
SFD-3 鋼製片開き戸	W1610×H2475 常時開放式防火防煙戸 鋼製枠共	1	か所			
SFD-4 鋼製両開き戸	W2575×H2475 常時開放式防火防煙戸 鋼製枠共	1	か所			
SFD-5 鋼製片開き戸	W1610×H2475 常時開放式防火防煙戸 鋼製枠共	1	か所			
SFD-6 鋼製両開き戸	W2725×H2475 常時開放式防火防煙戸 鋼製枠共	1	か所			
取付費		1	式			
運搬費		1	式			
(鋼製建具)						
LSD-24 鋼製片引き戸	W910×H2100 焼付塗装	2	か所			
取付費		1	式			
運搬費		1	式			
(その他)						
S O P塗り 改修仕様	鋼製建具面 工程B種 塗料1種 錆止め・下地調整共	59.4	m ²			
計						

改修工事 細目別内訳

9

[illegible]

改修工事 細目別内訳

10

(1) 面積区画改修工事		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(床)						
ビニル床タイル	半硬質 厚さ2.0 コンポジットビニル床タイルKT 一般床 既設ビニル系床材撤去面	11.3	m ²			
(壁)						
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	3.4	m ²			
軽量鉄骨壁下地 開口部補強		1	式			別紙 00-0012
ビニル幅木	高さ100	31.8	m			
壁 不燃積層 せっこうボード 張り(GB-NC)	厚 9.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 下張GB-R 厚12.5共	3.3	m ²			
耐火間仕切壁	(1時間耐火) LGS65下地 GB-Ft15+GB-Ft15(両面) FP060NE-01 74	20.1	m ²			
耐火間仕切壁	(1時間耐火) LGS65下地 GB-Ft21+GB-Ft21(片面) FP060NE-00 07	94.3	m ²			
耐火壁四周処理		224	m			
壁紙張り	ビニル壁紙 防火1級 不燃 壁 プラスチック程度 ボード面 素地B種 -	103	m ²			
せっこうボード 継目処理	継目処理工法(テーパードエッジ) 耐火壁面・防音壁面・既設ボード面	99.1	m ²			
ボード出隅処理		18.8	m			
(天 井)						
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 インサート別途	38.8	m ²			

改修工事 細目別内訳

11

[illegible]

改修工事 細目別内訳

12

[illegible]

[illegible]

改修工事 細目別内訳

14

[illegible]

[illegible]

改修工事 別紙明細

16

(1) 面積区画改修工事		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
墨出し		1	式			別紙 00-0007
墨出し(内部改修)	個別改修	13.5	m ²			
墨出し(内部改修)	複合改修	140	m ²			
計						
養生		1	式			別紙 00-0008
養生(内部改修)	個別改修	10	m ²			
養生(内部改修)	複合改修	38.8	m ²			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0009
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	10	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	38.8	m ²			
計						

[illegible]

共通仮設費(積上) 明細

19

[illegible]